

4 質の高い教育を
みんなに

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



技術コミュニティラボ

地域未来協創本部 准教授 服部大輔

大学の研究シーズをわかりやすく企業・自治体・支援機関・学生などへ伝えるとともに、双方向で活発に議論を行う「技術コミュニティラボ」を2017年より、実施しています。これまでの一般的な大学の研究シーズ紹介では、教員が一方向的に情報提供するイベントが中心でしたが、この取り組みでは、参加者が囲むように座り、楽しい雰囲気の中で双方向の意見交換を行うことが特徴です。あえて少人数に設定することで、活発な意見交換を促しています。これまで29回にわたり実施し、のべ参加者数は700名、発表者した研究者数は50名を超えています。



アイスブレイクとして、参加者全員が簡単な自己紹介をおこないます。

それぞれの自己紹介のあとに、拍手をして、楽しい雰囲気を醸成します。

情報提供者が、1時間、研究について発表を行いその後1時間の質疑応答の時間をとります。

技術コミュニティラボin大交流会LT
しまね大交流会出展者交流会
(対面イベント)

従業員満足と企業価値を向上させるウェルビーイングとは？

研究者によるミニ研究発表 & 交流会

地域社会では、コロナ禍を経験し、私達一人一人が生きがいを持って働くことや身体的な健康に配慮して働いていくことが、これまで以上に重要な時代となってきました。そのような中、(1) 精神的な健康、(2) 身体的な健康、(3) 社会的な健康という3つの健康状態をより良好に保ち満たされている状態を「ウェルビーイング (well-being)」と定義し、ウェルビーイングな状態で従業員が働くことが、企業の業績向上にもつながっていくといった認識が欧米を中心に広がり始めています。今回は、島根県内におけるウェルビーイングに関係する研究者や技術者を招聘し、それぞれ10分間のライトニングトークを実施することとしました。名刺交換や後日面談の場も用意していますので、ご興味のある方は是非ご参加ください。

- 島根大学医学部 岩下 義明 教授
電気インピーダンス測定を用いた熱中症の早期発見システム
- 島根大学人間科学部 石原 宏 准教授
働き方のタイプとメンタルヘルス
- 松江工業高等専門学校 中西 大輔 講師
至極人工工務向を用いた「やわらかい」コンクリート壁面について
- 島根県立大学 高須 佳奈 准教授
社員と職場のWell-beingにおける産学協創教育のポテンシャル
- 株式会社CANVAS 元廣 修 代表取締役
(島根大学卒業生)

オールしまねCOC+事業クリエイティブラボネットワーク
技術コミュニティラボ第7回ミーティング

情報セキュリティ技術の最先端研究と社会適用

3大特徴

- ◆最先端の情報セキュリティ研究と実社会への応用
- ◆データサイエンスと個人情報保護の両立
- ◆略号通貨 (仮想通貨) ・ブロックチェーン技術の活用事例

日時: 2019年7月3日 (水) 14:00-16:00
会場: 島根大学地域未来協創本部 (ソフビビジネス(パーク)島根内)
定員: 10~30名
申込期間: 2019年6月23日 (日) まで
申込: 島根大学地域未来協創本部 (裏面を御覧ください)
対象: 企業、金融機関、自治体、大学/高専、連携コーディネーター
趣旨: 大学と地域産業界が未来の技術や研究分野について自由な雰囲気の中で議論や意見交換をすることにより交流を深めることができる少人数・双方向性の情報交換会です。

日時: 2019年10月2日
会場: 島根大学 地域研
※ ソフトビジネス(パーク)島根内
定員: 10~30名
申込期間: 2019年9月27日 (金) まで
申込: 島根大学地域未来協創本部 (裏面を御覧ください)
対象: 企業、自治体、大学/高専 (学生)、連携コーディネーター
趣旨: 大学と地域産業界が未来の技術や研究分野について自由な雰囲気の中で議論や意見交換をすることにより交流を深めることができる少人数・双方向性の情報交換会です。